



～みんなのエールで心ひとつに～

副校長 池長 健吉

6月

先月の5月は、金小の数ある行事の中でも目玉となる2つの大きな行事を開催することができました。

一つ目は5月2日（月）、海の公園で行われたマリンフェスタです。前半は、1・6年、2・4年、3・5年のペア学年のグループごとに、計画した遊びを行いました。後半は、一瞬冷たさを感じながらも足首まで海水につかり、潮干狩りを行いました。見つけたアサリに目を輝かせる子どもの姿がたくさん見られました。身近にある自然の中でこのような体験ができる金小の子どもたちは本当に幸せだと実感しました。

そして2つ目は、5月28日（土）に行った金小スポーツフェスタです。今年度は、「パワー全開！！～みんなのエールで心ひとつに～」をスローガンに掲げ、3年ぶりの春開催となりました、それぞれが進級して2カ月、新しい仲間と力を合わせ、心を一つにして取り組みました。5・6年生の演技「金小ソーラン2022」では、今年度、地域の方のご厚意により、6年生が地域の法被をお借りしてそれを纏い、5年生が昨年度PTAで購入していただいた金小法被を纏って演技に臨みました。この2年間、感染症に配慮して地域の法被はお借りしていなかっただけに、袖を通した6年生には、「地域の方にお借りしたので頑張りたい。」という声もあり、練習から気合が入っていました。当日も、連続する激しい動きに耐えながら、高学年らしい力のこもった迫力のある演技で、感動を与えてくれました。3・4年生は、演技「色とりどりにきらりと光れ！」で、色鮮やかスカーフの揺らぎを生かした大きな振りのダンスと、速いテンポの曲に合わせた軽快なダンスを集団で揃え、見る人を楽しませました。1・2年生の演技「えがおでいっぱい太陽のエール」では、曲に合わせて目いっぱい手を伸ばしたり、足を動かしたりする一生懸命な思いが溢れるダンスで、やり遂げた満足感が表情に表れていました。その他にも5・6年生は応援団や放送など様々な仕事を分担して受け持ち、一人ひとりが自分の仕事に責任と誇りをもって活動していました。どの子どもたちも自分の力を出し切り、成長することができたスポーツフェスタとなりました。

また、今年度このようなスポーツフェスタが開催できたのも、多くの方のご支援、ご協力があったことです。法被や大漁旗をお貸しいただいた地域の皆様、受付や会場案内等をしていただいたPTA役員・委員の皆様、駐輪場の整理等を行ってくださったスポーツサポーターの皆様、会場の子どもの安全を見守ってくださった学校・地域コーディネーターの皆様等、本当にありがとうございました。この場を借りて、お礼申し上げます。